

岩手県立釜石高等学校 「メッセージプロジェクト」

岩手県立釜石高等学校では、東日本大震災から10年が経過するにあたり、「感謝・記録・希望」をキーワードに、今自分たちにできることを考え、後世に絆を繋ぐべく「メッセージプロジェクト」を立ち上げました。「復興支援への感謝の気持ちを世界に伝えること【大漁旗プロジェクト】」、「震災の記憶を風化させることなく今後の防災に生かすこと【防災に関する出前授業プロジェクト】」、「10年後の未来に自分たちがどうなりたいか、何をしたいかを考えて明るい未来を信じて希望を抱き続けること【折り鶴プロジェクト】」の三つのテーマを設定し、生徒が企画実践しております。

未来を担う生徒たちの自主的な取り組みとなっておりますので、より多くの方々にご理解を賜り、皆様の活力になっていただければ幸いに存じます。

折り鶴の羽に、「10年後の未来の自分に向けて、自分は何をしていきたいか、どうなっていきたいか」というテーマに沿ったメッセージを記入し、千羽鶴として後世に伝えていくものというものです。

3. 折り鶴プロジェクト

【千羽鶴の羽にメッセージを記して、10年後の未来を展望し、後世につなぐ】

1. 大漁旗プロジェクト

【釜石の象徴である大漁旗を製作し、震災復興支援への感謝を世界に伝える】

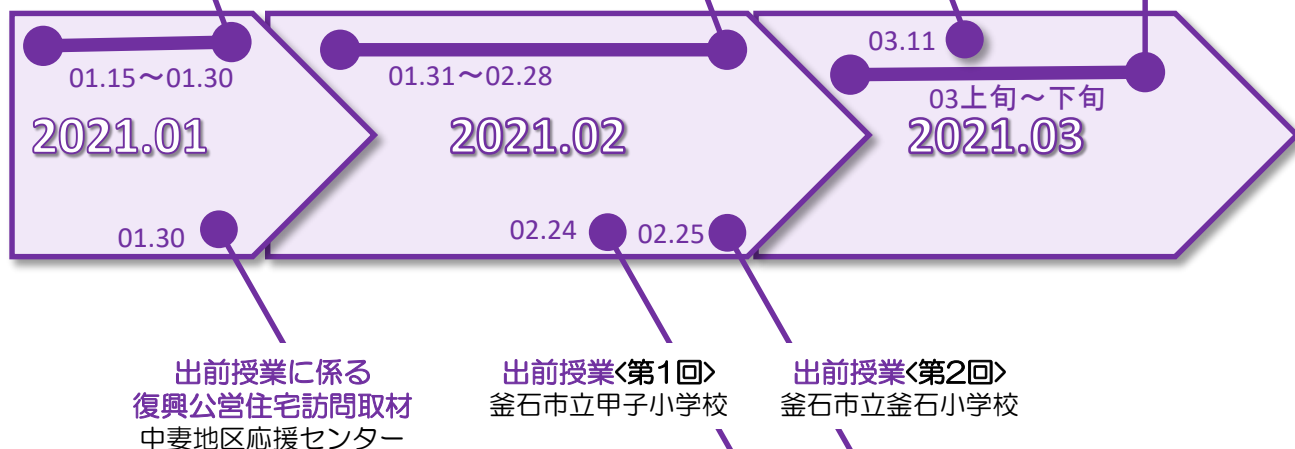
大漁旗のデザインは、本校文化祭で2年の各クラスから募集し、全校生徒の投票により決定いたしました。3月11日には、釜石高校の生徒が大漁旗を振り、岩手県立釜石商工高等学校の虎舞委員会の生徒が虎舞を踊り、その様子をドローンで撮影したいと考えております。その動画は、本校2年の第23代高校生平和大使の太田堅がジュネーブ国連欧州本部を訪問する際には持参し、会場で上映する予定です。

大漁旗及び虎舞の動画撮影
〈第3期〉
釜石商工高校グラウンド

大漁旗展示〈第1期〉
折り鶴プロジェクト〈第1期〉
イオンタウン釜石店 様

大漁旗展示〈第2期〉
折り鶴プロジェクト〈第2期〉
三陸鉄道釜石駅 様

千羽鶴展示〈第3期〉
いのちをつなぐ未来館 様



2. 防災に関する出前授業プロジェクト

【震災の記憶と記録を風化させることなく、今後の防災に生かすべく、小学校で出前授業を行う】

震災の記憶と記録を風化させないためにも、当時小学生や幼稚園児であった生徒たちが、経験から得た教訓や避難所生活を余儀なくされた方々から取材した話を、東日本大震災を知らない世代に語り継ぐことで、防災への意識向上と、地域での繋がりを深めることを目的として企画しました。次世代を担う子どもたちが、防災教育を通して絆を深め合い、地域の発展につながればと考えております。